

介護予防サービス・支援計画表（2）（記載例）

計画作成日

平成29年6月9日

NO.

伊勢 恵子

様

アセスメント領域と現在の状況	本人・家族の意欲・意向	領域における課題（背景・原因）	総合的課題	課題に対する目標と具体策の提案	具体策についての意向（本人・家族）
<p>活動・移動について 入院をきっかけに、体力・筋力の低下を感じている。歩行は杖など必要ないが、3ヶ月ほど前に転倒したことによる不安から、特に怪我はなかったものの外出の機会が減ってしまった。近所の友人らは、月1回の会食会、老人クラブに参加することを楽しみにしているため、本人も友人らと参加したいと思っているが、転倒の不安から不参加が続いている。</p>	<p>本人：今までの元気だった状態に少しでも早く戻り、介護のサービスを使わずに、みんなとワイワイご飯を食べたい。 長女：入院するまでは活発な母だったが、最近は閉じこもりがちで心配です。体力の回復はもちろんです、気分転換のために外出してほしい。</p>	<p>■ 有 □ 無 会食会、老人クラブの活動に参加する意欲が強い。ため、転倒の不安を解消し、体力と筋力を回復、向上する必要がある。</p>	<p>1. 会食会、老人クラブに参加できるよう足腰の力をつける。</p>	<p>1（目標）15分以上続けて外を歩けるようになる。 【具体策】 ①専門家の指導を受け、正しいトレーニングを学ぶ。 ②教えてもらった内容を自宅で1日1回は行うようにする。 ③家族から、運動をしているか声かけをし、励ましの声をかける。 ④体調の良い日は、家族と一緒に家の周りを散歩する。</p>	<p>1 本人：教えてもらった体操などを自宅でできるか自信がないがやっていきたい。また体力に自信が持てたら15分以上歩くようにしたい。 長女：是非やってほしい。できる限り一緒に散歩に行くようにします。</p>
<p>日常生活（家庭生活）について 食事の準備、掃除、洗濯は時間はかかるが自身で行っている。通帳は自己管理だが、銀行が自宅から遠いため、週に1回市内在住の長女が訪問の際に、買物・銀行などに連れて行っている。浴室での転倒が怖く、入浴の頻度が毎日から週1回まで減っている。長女は訪問の際に、自宅内の行き届いていない場所の掃除や調理したものを届けている。</p>	<p>本人：時間はかかるけど、やれる事は自分でしないと、どんどん弱っていくから頑張りたい。 長女：母のやる気を無くさないよう、手伝いは必要最小限にしています。</p>	<p>■ 有 □ 無 自立への意欲が高く、自身でできる事は行い、家族の支援もあるが、転倒に対する不安が大きいため自宅での入浴回数が減っている。ただし、一人で入りたいという前向きな気持ちがあるため、安全な入浴方法を支援していく必要がある。</p>	<p>2. 自宅で入浴できるよう安全な入浴方法を身に付ける。</p>	<p>2（目標）自宅で安全に入浴できるようになる。 【具体策】 ①専門家の指導を受け、正しい入浴方法を学ぶ。 ②安全に入浴するため、足腰の筋力をつける。</p>	<p>2 本人：早く自宅のお風呂に入りたいが、まず体力、筋力をつける努力をしたい。 長女：安全な入浴方法を専門家から教えてもらえるのはありがたい。</p>
<p>社会参加、対人関係・コミュニケーションについて 岩淵に30年ほど住んでいるため友人は多い。月に数回は本人宅に顔を見に来て、会食会や老人クラブの活動など誘ってくれているが、本人は転倒の不安から断っている。災害時の避難先は観光文化会館と決めているが、現時点で歩いて行けるか不安がある。災害時要援護者登録制度、救急医療情報キットは今まで元気であったため、未申請。</p>	<p>本人：会食会、老人クラブの活動に参加したいけど、今の状態ではみんなに迷惑をかけてしまいそうで不安です。 長女：今までのような活発な母に戻ってほしいです。災害時の事は今まで考えた事がなかったので、一度話し合ってみます。</p>	<p>■ 有 □ 無 友人との関係も良く、入院するまでは災害時の事まで考えていなかったが、体力、筋力の低下に伴い、災害時の行動について情報を整理し、家族とともに検討していく必要がある。</p>	<p>3. 災害時の対応を家族と話し合い、災害時に備える意識をもつ。</p>	<p>3（目標）災害時に備える意識をもつ。 【具体策】 ①災害に関する情報を集め、必要であれば災害時要援護者登録制度、救急医療情報キットの申請を行い、救急医療情報キットを冷蔵庫に保管する。 ②体調の良い日は、家族と一緒に避難所まで歩いてみる。 ③避難所までの経路で注意する点をチェックする。 ④地域の避難訓練に参加してみる。</p>	<p>3 本人：娘に負担をかけたくないため、近所の人と一緒に避難できるようにしたい。 長女：日中は仕事をしているため、支援は難しいと思います。日頃から災害時の対応を話し合います。</p>
<p>健康管理について 平成29年2月に脳梗塞で入院。幸いにも軽度で麻痺はほぼ無いが再発が怖いので、薬は飲み忘れることなく服用している。徒歩15分ほどの病院へは、月2回長女の車で送ってもらっている。食欲はあり、3度の食事はきちんと摂っている。総義歯であるが、毎食後洗浄し、就寝前には洗浄剤に浸けている。</p>	<p>本人：脳梗塞の再発だけは気をつけたい。一人で歩いて通院したい。 長女：一人で通院できるようになるまで、送迎は続けます。</p>	<p>■ 有 □ 無 再発しないよう、食事内容や水分摂取に気を使い、今までどおり薬を飲み忘れることなく健康管理に注意し、定期的に家族の支援により状況を確認していく必要がある。</p>	<p>4. 定期受診と薬の内服管理を続け、健康状態を維持する。</p>	<p>4（目標）健康管理を自身で行い、再発防止に努める。 【具体策】 ①定期受診、内服管理を続ける。 ②毎日の食事内容や水分量に気をつける。 ③長女も受診に付き添い、病状の把握をし、生活状況（食事内容、水分量、服薬状態など）を定期的に確認する。</p>	<p>4 本人：病気の再発が一番気がかりです。娘に負担をかけさせないためにも努力します。 長女：通院については協力するので、内服管理など自分のできる事は続けてほしい。毎日の生活状況について把握していこうと思います。</p>